

名寄市保健医療福祉推進協議会 第8回地域福祉部会

第4期地域福祉実践計画 第8回策定委員会

合同部会 議事録

日 時：平成28年4月26日（火）18時30分～20時

場 所：名寄市役所 4F 大会議室

・ 委嘱状の交付

1 開 会（策定委員会 委員長）

2 挨 拶（策定委員会 委員長）

3 議 事

報告第1号 平成28年度の取り組みの流れについて

→ 事務局から、議案1～3ページの説明を行った。

その後の委員の主な発言は、以下のとおり。

（委員A）何か質問やご意見は、ございませんか？

（委員B）計画策定スケジュールについてですが、これまでは、市の「地域福祉部会」と社協の「実践計画策定委員会」が、合同の予定でしたが、それが合同ではなくなるということで、両方の計画の重なる部分の扱い方が、バラバラになってしまうのではないかと思います。また、計画の特徴を考えると、連携して作成した方がよいと思いますが、そういった点については、どのように考えていますか？

（事務局）委員がおっしゃられたとおり、別々に会議を行なうこととなりますが、これまでも、市と社協の両方の担当者が、それぞれの会議に参加するようにしていましたので、連携をしながら進めていくことには、かわりはありません。

合同会議という形を取らなくなっても、連携が薄くならないように、必要に応じて、会議以外の場面での打合せも、密に取っていくことを考えています。

また、委員の方も、市と社協の会議に、重複している委員が多くいますので、そういった面でも、連携や情報の共有が図れると考えています。

(委員 C) 両方の会議をバラバラで進めて、計画を決定していくということなのではないでしょうか？

(事務局) 町によっては、市と社協の2つの計画を、一冊の計画として作成する町もあるようですが、今回の本市の場合は、連携して協議はしていきますが、最終的には、別々の計画書を作ることになっています。今後、策定に向けての協議が進んでいけば、別々に会議を開くことになると思いますが、先ほどの話にも出ていたとおり、別の方向性の計画になることは避けるべきなので、今まで以上に、情報を共有して進めていきたいと考えています。

(委員 A) 共通のアンケートの結果を元にして、「地域福祉計画」と「実践計画」を策定することになりますので、各計画の素案を作っていく段階で、お互いにすり合わせを行なうようなことが必要だと思います。

(事務局) 予定としては、議案書に記載のと通りの会議の回数で行なっていくことを考えていますが、昨年度も、追加で臨時の会議を開いたことがありました。予算の関係もあるので、地域福祉部会の会議の回数につきましては、3回で収まるように準備をしていきたいとは思っていますが、もう少し話し合いが必要な状況になった場合については、その時に考えるようにしたいと思います。

(委員 D) アンケートは、1,500人を対象としているが、1500人に設定した根拠をおしえてもらえますか？

(事務局) 根拠にはならないかもしれませんが、前回の計画策定時のアンケートが「1,500人」だったため、今回も同じ人数に行なうことを考えていました。

(委員 C) 1,500人を無作為に決めているということですが、前回の計画策定時にアンケートを送付した人と、重なっているかどうかについては、わかりますか？

(事務局) 発送先は、無作為で抽出します。前回と同じ方に送ることになるのかについては、把握できていない状況です。

(委員 C) ちなみに、前回の計画策定時のアンケート調査は、回収率は何パーセントくらいだったのでしょうか？

(事務局) 前回は、約50パーセントでした。

(委員 D) アンケート調査をする際には、サンプル数が10,000人だった場合は、400人前後のアンケートを取れば、適切な調査ができると言われていています。名寄の人口を30,000人と考えても、1,500人からアンケートを取れば、十分だと思います。

協議第1号 アンケート調査の項目の検討について

→ 事務局より、議案4～6ページの説明を行った。

その後の委員の主な発言は、以下のとおり。

(委員A) 何か質問やご意見は、ございませんか？

(委員D) 問13番の選択肢5番目の「基金造成のビールパーティー」というのは、一般的にイメージが付きにくいのではないかと思います。また、自由記述については、アンケートでは、最近、自由記述の内容が大切だと言われてきており、この取り扱いについては、どのように考えていますか？

(事務局) 「基金造成のビールパーティー」と書かれている部分については、元々は、「チャリティイベントへの参加」という記述でしたが、昨年度の話し合いで、名寄ではビールパーティーの回数が多いという意見が出ていましたので、このような記述に変更してみたところです。自由記述の取り扱いについては、もう少し詳しくおしえていただくと助かります。

(委員D) アンケートを分析する際には、アンケートの数字の部分だけではなく、こういった記述が、こういった属性の人に多いのか等を分析する、「テキスト分析」といった方法がありますので、自由記述を単純に羅列するだけではもったいないので、こういった方が、こういった意見を持っているのか、その傾向はどのようになっているのかを知ることができるので、アンケートの分析の業務委託をする業者には、そういった作業を行なっていただくようにし、結果としておしえていただきたいです。

(事務局) 今後、業務委託をする業者と打合せをして、そのようにできるように調整したいと思います。

(委員E) 先ほど話の合った問13のビールパーティーの記述については、私も違和感を感じます。ビールパーティーは、資金造成の性質が強いため、チャリティーコンサートや映画会といった、記述の方がよいと思います。

(委員F) 問11の選択肢5番の「近隣住民同士の支え合い活動」が、具体的にどのようなことなのかがわからないのではないのでしょうか？問12の地域活動については、具体的には、問11にあるような活動のことをいうのでしょうか？また、地域活動の記述については、「地域で行なう活動」や「地域におけるいろいろな活動」と違う記述があるが、違う記述にしているのには、意図があるのでしょうか？

問13の行なったことがある福祉活動については、選択肢の1番目に「行なったことがない」という選択肢があるのは、ちょっと不自然ではないでしょうか？

(事務局) 住民同士の支え合い活動については、名寄社協で「町内会ネットワーク事業」という活動を展開しており、高齢者などへの声かけや見守り、高齢者を招いた食事会等を行なっており、そういった活動が該当するのですが、委員がおっしゃるように市民にイメージが付きやすいかと言われれば、そうではないと思いますので、わかりやすいように、括弧書きで、例を記載するようにしたいと思います。

(事務局) 問11と問12の関係性については、寺川委員がおっしゃったように、問11にあるような活動をしたことがあるのかを聞くものになっています。

問12の地域活動の記載については、記述の仕方が統一されていなかったため、統一するようにします。

問13の「福祉活動をしたことがない」という選択肢については、選択肢の一番最後に記載するようにします。

(委員E) 問12の1番目の選択肢で「社会教育などを通じた福祉教育」となっているが、「通じた」ではなく、「通じて」が正しいのではないのでしょうか？

(委員F) そうですね。文法的には、「通じて」が正しいと思います。

(委員E) 問12の老人クラブについては、老人クラブは、町内会活動の一環として行なっているものと認識しているため、老人クラブという選択肢は、別の選択肢にせず、前回同様に、町内会活動と同じ選択肢にしてもいいのではないのでしょうか？

(委員A) すべての老人クラブが、町内会活動の一環で行なわれているのではなく、老人クラブがない町内会もあったり、複数の町内会にまたがっている老人クラブもあるため、これは、選択肢を分けた方が正しい情報が得られるのではないかと思います。

(委員G) アンケート内容を見ると、福祉活動への参加に重点が置かれた内容になっているが、前回の計画策定時のアンケート調査の際には、「どういった方に相談をしているのか」という設問があったと思いますが、これはあえて外しているのでしょうか？

地域福祉と考えた時に、問題が起きたときに相談ができるのかどうかという、根幹に関わる部分の設問を外した訳を、おしえてもらえますか？

(事務局) 昨年度の話し合いの中で話し合われた内容については、可能な限り、今回のアンケート(案)に盛り込んでいこうと思っていて、昨年度の話し合いの中では、委員がおっしゃるように、相談に関してのご意見も多くいただいている状況です。

ただ、相談に関する取り組みについては、アンケートの結果に関わらず、元々、行わなければならないことであるため、今回作成する計画には、相談機能の充実は、必ず入ってくることになると考えたため、アンケート項目には入れなかったという状況です。

(委員 G) 先ほど出ていた、「老人クラブ」の選択肢を、別枠で設定するのであれば、「子ども会育成部の活動」についても、別で設定した方がいいのではないのでしょうか？

町内会活動は、地域福祉活動の軸になる部分だと思いますし、子ども会や老人クラブなど、年代別にも状況を把握できる内容にすべきだと思いました。

(事務局) 今回のアンケート項目の原案を作成するにあたっては、アンケート結果を、その後、どのように反映させていくのかを考えて、作成しました。

老人クラブの設問については、子ども会同様に、別に設定をして聞くことで、「老人クラブには行っているが、町内会には行っていない」という結果や、「町内会活動には参加していないが、子ども会には参加していて、子ども会活動が町内会の活動だと認識していない」などという結果が見えてくるなど、より詳しく地域活動への参加状況がわかると思われるため、老人クラブだけではなく、子ども会活動も、別の選択肢にしたいと思います。

(委員 H) 私の町内会でも、子ども会活動が、町内会活動と一線を画している部分もありますので、わけた方がいいと思います。

4 その他

(委員 H) 今日の話合いの内容をふまえて、修正をした「最終的なアンケート」を、後日、委員にも見せていただきたい。

(事務局) 今日いただいた意見をふまえて、今後修正をし、「最終的なアンケート」を委員の皆さんにも送るようにいたします。

5 閉 会 (地域福祉部会 部会長)